

エルミ・ツアーについて

エルミという名は、エチオピア人と日本人の夫婦Elias & Miyukiに由来します。業界10年以上の経験を有する代表取締役エリアスと、日本人の感覚を理解する妻 美夕紀の指導のもと、スタッフ一同、お客様の安全とご満足を第一に考え、エチオピアではめずらしく質の高いサービスを提供します。

お客様のご要望や状況に応じて、臨機応変に24時間対応。それが評価され、過去6年にわたり、在エチオピア日本大使館、日本国際協力機構(JICA)ご関係者の地方出張にもご利用いただいている、信頼と実績のある会社です。他にも、世界各国の旅行グループや国際NGOから信頼いただいております。

エチオピアと日本を深く理解するスタッフが、ご予定、ご興味、ご予算に応じて、お客様に最適な旅をご用意いたします。つねに真心で対応させていただきます！



エチオピアのコーヒーセレモニー体験



エチオピアの文化を紹介する代表取締役 エリアス

おしながき

ご希望、ご予算によって組み合わせ自由です！

- ① 首都アディスアベバめぐり
 - ・ 国立美術館
 - ・ 民族博物館
 - ・ 三位一体教会
 - ・ マルカート市場(アフリカ最大の青空市場)
 - ・ エントト山(首都全体が展望できます)
- ② 歴史と文化遺跡めぐり
 - ・ ラリベラ(世界8不思議、岩窟教会)
 - ・ ゴンダール(古都)
 - ・ アクスム(石碑)
- ③ エチオピア文化と少数民族
 - ・ アルバミンチ
 - ・ ジンカ
 - ・ トウルミ
- ④ イスラム文化と砂漠(東部)
 - ・ ハラール(イスラム文化の象徴)
 - ・ バビレ(象が生息する古い町)
- ⑤ 文化遺跡と少数民族(北部&南部)

北部の遺跡と南部の民族を組合わせた人気メニュー。
- ⑥ 少数民族と自然・動物

南部の少数民族と国立公園を組合わせた人気メニュー。

 - ・ アルバミンチ
 - ・ ネチサール国立公園(シマウマ他)
 - ・ チャモ湖(ワニ市場)
 - ・ チャンチャ村(山岳少数民族)
 - ・ アワサ湖(鳥)
 - ・ ランガノ湖(自然と乗馬)
- ⑦ 鳥(バードウォッチング)
 - ・ アワシ国立公園
 - ・ バレ山国立公園
 - ・ サンカレ国立公園
- ⑧ 自然の散策(山、砂漠、火山)
 - ・ セミアン山岳国立公園(狼、ヒビ)
 - ・ バレ山国立公園など



エルミ・ツアー

ELMI Tour Operation P.L.C.

エチオピア

エルミ・ツアー

電話: +251(0)11-554-7191
 Fax: +251(0)11-554-7192
 携帯: +251(0)911-512439
 E-mail: info@elmitourethiopia.com
www.elmitourethiopia.com



Enlightenment & Inspiration



エチオピアといえば

「裸足のアベベ」や「飢餓」のイメージをもたれる
かもしれません。

でも、ご存知でしたか？

エチオピアは、人類とコーヒーの発祥地なんです！

それだけではありません！

9つの世界遺産を有し、きわめて特徴的な少数民族が
多く暮らす国でもあります。

地理的には日本から遠いけれども、
日本人がどこか親しみを感じる国。

なぜなら、人々はおじぎをして会釈し、時には沈黙や
謙遜を美德とする。お客は丁重にもてなし、隣近所の
茶飲み友達と、たわいないおしゃべりを楽しむ。

他人であっても「一緒にたべよう」と声をかけ、互い
に助けあう。家族や親戚を心から大切にし、友人とは
つねに腹をわって話す。

古きよき日本を思い出させるエチオピアは、アフリ
カでは珍しく、ヨーロッパの植民地支配をうけたこと
がなく、独自の文化、言語（アムハラ語）、そして
宗教（エチオピア正教）を守り続けてきた誇り高い
国。そして、アフリカで最も、美男・美人が多い国。

とはいえ、エチオピアの貧困問題はいまだ深刻です。
都市部では貧困の差がはげしく、地方では水道や電気
がない家庭がほとんど。そんななか、エチオピアのこ
どもたちは、力強く、せいっぱい、生きています。



水くみを手伝う少女



ユネスコ世界遺産

エチオピアには、9つのユネスコ世界遺産があります。



ラリベラ



セミエン山岳国立公園



ゴンダール

世界8不思議「ラリベラ」(Lalibela)

12世紀ラリベラ王の時代、約2万人が20年以上の歳月
をかけて、巨大な岩を掘りぬいて12の教会を造り
ました。地上レベルから地下に掘り作られた岩窟教会
は、その巧妙さと大きさから、エチオピアに多く
存在する岩窟教会の中で最も見ごたえがあります。

セミエン山岳国立公園 (Semien)

エチオピア最高峰のラス・ダシェン山（標高4600m）
をほこるセミエン山岳国立公園では、山脈の雄大な景
色を堪能できる他、エチオピア特有のおおかみ、
ヒビ、レイヨウ、野生ヤギ等といった世界でも希少な
野生動物を間近で観察することができます。

古都ゴンダール (Gondar)

17世紀に、アクスム、ラリベラにつぐ三番目の首都
としてファシラデス王により築かれたゴンダール。ユ
ネスコの文化遺産にも登録されている中世の城や、エ
チオピア最高傑作といわれる宗教画を誇る ダブラ・
ブラハン・セラシエ教会などがご堪能いただけます。

聖地アクスム (Axum)

ソロモン王とシバの女王の間に生まれたメネリク王
によって創設されたアクスム王朝。2500年以上の歴
史を誇る世界最大級の一枚岩石碑、モーゼの十戒が
刻まれた石板を納めた箱「アーク」が秘蔵されてい
るといわれている聖母大聖堂、シバの女王の王宮
跡、6世紀カレブ王の地下墳墓などが満喫できます。

ユニークな少数民族

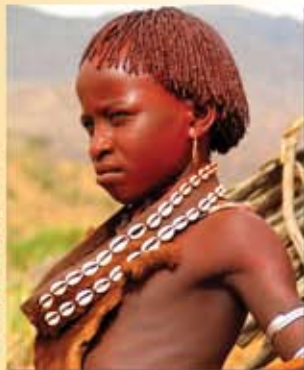
エチオピアには80以上の民族が独自の文化と言葉
を持って暮らしています。特に南部では、きわめて
特徴的な少数民族が多数。

たとえば「ムルシ族」。男性は全裸、女性は下唇に
お皿をいれてオメカシします。

「ハマル族」には、特別な成人儀式があります。
男子が結婚するには、何頭もの牛を跳びこえなければ
なりません。跳び越えられなければ成人とみなされず
お嫁さんをもらえませんが、見事跳び越えることが
できれば、どの美女とも結婚できます。



ムルシ族の女性



ハマル族の少女

コーヒー発祥の地

コーヒーの語源は、エチオピア南西部のカファ州と
いわれています。昔々、ヤギ飼いの少年が、赤い木の
実を食べては飛んだり跳ねたりしているヤギを見つけ
ました。少年がこの実を食べてみると、なんとも快い
刺激。これを聞きつけた修道僧がこの実を試みに食べ
てみたところ、夜通しの祈祷中に、精神が冴えわたる
ことが判明。これが広く伝わり、エチオピア中の修道
僧が、コーヒーのおかげで眠気に惑わされることなく
修行できるようになったと言い伝えられています。

このようにはじまったコーヒー、今ではエチオピア人
の生活に深く浸透しており、客がきたら炭をおこして
生豆をいるところからはじめるコーヒーセレモニー
でおもてなし。日本の茶道に通じるものがあります。

